

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【馬宮中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>学習習慣の確立ができておらず、基礎的・基本的な知識・技能が定着していない。 <指導上の課題>生徒が自らの学習を振り返る時間や学習計画を立てる時間の設定が確保できていない。	⇒ 「ドリルパーク」等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組み【毎授業開始時の実施】。授業中に生徒が自らの学習を振り返る時間や学習計画を立てる時間を設定する【毎時間設定】。
思考・判断・表現	<学習上の課題>自分の考えを言葉で表す活動に課題が見られ、「思考・判断・表現」の記述式問題の無回答率が高い。 <指導上の課題>根拠を明確にして自分の考えを説明する活動や他者と教え合ったり高め合ったりするような授業が少ない。	⇒ 生徒が作品・レポート等に取り組む際に、手立てや評価の観点を明確に生徒に提示した上で、観点に沿った評価をする【毎回実施】。意欲的に授業に取り組む態度を育て、協働的な学びを通して考えたり表現したりすることができるようにする【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができるか」の質問項目において、肯定的な回答が80%以上】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)